

[佳 作]

「小さいようで大きい領土問題」

新十津川町立新十津川中学校

2年 林 滯志

私は北方領土が日本の領土なのか、はたまたロシアの領土なのか、私は分からない。日本の国民は、北方領土を自分たち日本国民のものだと言っているけれど、本当にそうなのだろうか。私がなぜこう思っているかという、先月、ポーッとテレビを見ている時に、僕の目を疑わせたニュースが流れてきたからだ。このニュースが私の北方領土への疑問をわき立たせたものであった。

そのニュースの内容は、北方領土を(の視察に)訪れた日本の偉い大臣が、北方領土の島々の名前を言えなかったという内容だった。私はとっさに頭が混乱した。「なぜ取り返したいと思っている島々の名前を、日本の代表でもある大臣が言えないのだろうか？」疑問と同時に、怒りもわいてきた。「日本の大臣がこんなんで、日本の未来は大丈夫なのか？」本当にそのニュースは、僕の疑問をわき立たせた。

これまでは、日本の視線から見たものだったが、ロシアの視線はどのようなものなのだろうか？僕はロシアが、北方領土を放す気はこれっぽちもないと思う。ここで皆さんに問いかけます。皆さんは、もし自分が大統領だとしたら、自分の国の領土を他国との話し合いだけで軽々と領土をわたす気になれますか？この気持ちはロシアには私は同情できる。私自信も、北方領土を日本の領土にしたいと思っている。しかし、本当に夢の島、北方領土は日本の領土になるのだろうか。あのニュースを見てからは本当にこの疑問が頭から離れない。日本国民であり、その中の道民でもある私でさえも、夢の島は、本当に日本の領土なのだろうかと思ってしまう。この現状では、まずいのではないかと私は思う。この現状を打破するためにはどうすればいいのだろうか。私はなやんだ拳句、次のような考えに至った。

「北方領土の知識を全員が持て！！」なぜこのようなことを考えたかという、日本国民全体が北方領土の知識を持つと、少しずつ日本国民が北方領土に関心を持ち始めるのではないのだろうかと思ったからです。ちょっとずつ、1cmでも、1mmでもいい、私は、日本国民全体に、少しでもいいから関心を持ってほしい。そうすることによって、北方領土をロシアから取り返すことへの手がかり、すなわち「鍵」になると私は思っている。しかし、この「鍵」をどこにどう使うかが重要です。この「鍵」、つまり、日本人の北方領土に対する熱意は、ロシアの大統領すなわちプーチン大統領の北方領土への心のトビラを開くことができるのではないのだろうか？日本人がもっと今までより、更に、北方領土に対して、「知識」、「熱意」この2つのことをもっと意識していけば、もしかしたら、ロシアが北方領土を日本の領土として、返還してくれる日も近いのではないのだろうか？私は、この、ポジティブな考えにより、この最北端の領土問題解決の山から、少しきざしが見えてきたような感じがする。

このように、日本の北海道から沖縄までものすみずみの人が、北方領土に対して、関心を持ち、北方領土返還のために、北方領土の知識や絶対に返してほしいなどの熱意をもち、ロシアも心を開くのではないのだろうか？北方領土は、北海道だけの問題なのではない、自分たちも関係あるんだなどという気持ちを持ち、北方領土問題解決の糸口となるように、私も含め、皆が一步ずつ前へ進んでいけばいいと思います。

北方領土問題は解決する。私は信じている。